



# 摩周のふくし

発行／社会福祉法人 弟子屈町社会福祉協議会

弟子屈町中央2丁目10番25号 社会老人福祉センター内 (☎015-482-1054・FAX482-1236)

## 世代間交流 盆踊り大会



平成29年8月8日(火)弟子屈町社会老人福祉センターにおいて、初開催となる世代間交流イベント(盆踊り大会)を開催いたしました。

少子高齢化、人口減少により地域が衰退し、以前は町を挙げて或いは地域ごとに行われていた盆踊りも数えるほどとなり、地域のつながりや世代間の交流の場が失いつつある中、老人クラブ会員が中心となり、学童・幼児、地域住民との世代間交流による新たな「地域づくり」の活性化に向けて、高齢者の社会的活躍を促進するとともに、高齢者の社会参加の強化を図るため、文化伝承とも言える「盆踊り」を通じて、世代間交流と老人クラブ及び学童・幼児の活動の場を広げようとの試みで、企画した事業です。

当日は、屋内会場にやぐら台と提灯を下げて、太鼓の音が響き、「子供盆踊り」を皮切りに「北海盆踊り」を踊り、夏の風物詩を満喫しておりました。続いて、こどもゲーム大会、I&Mバトンスタジオによるダンス披露、最大の盛り上がりは、児童・幼児仮装盆踊り、老人クラブ会員仮装盆踊りで弟子屈音頭の場面でした。観覧していた方々も来年は、是非参加しようと意気込む方もおられ、会場内は終始熱気に包まれていました。

本事業が永年継続できることを目指して参ります。



この社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分金を受けて発行しています。

# 老人クラブの活動

## 米寿記念の祝品贈呈

今年度も釧路地区老人クラブ連合会より、「敬老の日」の行事の一環として満八十八歳を迎える弟子屈町老人クラブに加入している会員の方への祝品が届き、対象者五名（男性三名、女性二名）の方へ長寿の祝い、併せて長年の労をねぎらう言葉を添えて、ひとり一人の家庭を訪問し、弟老連竹内会長の手より記念品が贈呈されました。



記念品を受け取る大関さん

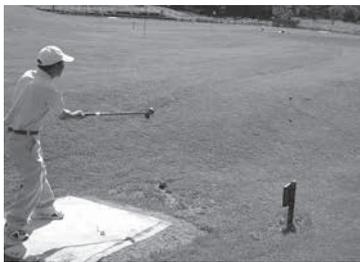


## 第十八回弟老連パークゴルフ大会

第十八回弟老連パークゴルフ大会が七月二十七日（木）奥春別パークゴルフ場において開催されました。

十単位クラブより会員三十四名の参加があり、それぞれが競い合い、パークゴルフを通じて交流を深めました。

当大会は、釧路地区老人クラブパークゴルフ大会への出場権予選を兼ねており、当日はパークゴルフ日和に恵まれ、各組白熱した競技展開を繰り広げておりました。



当日のプレーの様子

結果は次のとおり

- ☆団体優勝 泉喜楽会【初優勝】
- ☆男子優勝 鏡 充さん（見晴清寿会）【三連覇】
- ☆女子優勝 千葉 節子さん（鈴蘭ほのほの会）【初優勝】

## 釧老連 ゲートボール大会

七月四日（火）釧路市市民ゲートボール場において第三十六回釧路地区老人クラブ連合会ゲートボール大会が開催され、管内より六十六名、弟老連より二チーム十二名の会員が参加しました。

両チームとも予選リーグを無難に突破し、決勝トーナメントにおいても両チームとも強豪チームを撃破され、なんと決勝戦は弟子屈町同士の試合となり、結果は「川湯混成チーム」が見事、優勝！「奥春別チーム」が惜しくも準優勝。栄冠を弟子屈町へ持ち帰ってきました。



優勝カップを受け取る川湯混成チーム

## 釧老連パークゴルフ大会

九月六日（水）第十四回釧路地区老人クラブ連合会パークゴルフ大会がしらぬかパークゴルフインチャロにて開催されました。毎年開催される本大会は、管内七町村老人クラブより選抜された会員八十九名が参加され、弟老連からも予選会を勝ち抜いた会員男性六名女性八名（計十四名）の少々少なめですが、参加いたしました。

今回のコースは、地元でも大変難易度が高いとの評判であり、他町村の各選手も四苦八苦される場面が多く、普段の平均スコアより打数を叩く姿が見られました。

また、弟老連選抜会員の方々は、惜しくも上位入賞には至りませんでした。が、個人賞といたしまして「とび賞」・「ブービー賞」の各賞を次のように受賞されました。



大会に参加された皆さん

- ☆とび賞：女性の部 30位 柏倉 征子さん
- ☆ブービー賞：男性の部 猪狩 英広さん

## 釧老連東ブロック研修会

毎年東ブロック地区（厚岸町・浜中町・標茶町・弟子屈町）の開催地輪番により実施されております釧老連東ブロック研修会ですが、本年度は七月十二日（水）厚岸町にて開催され、弟老連より二十三名の会員が参加いたしました。

「立腰（りつよう）体験で姿勢から健康に」と題しまして、くしろスマイル整体院 姿勢教育指導士の山岸伸行氏によりご講演いただき、姿勢診断チェックを各自で行ない、姿勢から健康維持につなげるきっかけ、ねこ背の種類（四種類）によって不健康を招く原因を学習し、改善策として「キヤットレッチ（ねこ背を治すストレッチ）」と「肩こり・腰痛」解消体操を体感され、具体的なお話が聞けて、とても有意義な時間となりました。



研修会の様子



# おかげさまで 70周年 赤い羽根共同募金



平成29年度  
目標額

# 1,400,000円

(昨年度実績額 1,444,929円)

皆さまのあたたかいご協力をお願い致します。

**運動期間** 10月1日～12月31日(全国一斉に行なわれます)

### 募金の種類と内容

- 「家庭」を対象とした戸別募金(小口募金)
- 「通行人」を対象とし、運動をPRする街頭募金
- 「企業」を対象とした法人募金(大口募金)
- 「従業員」を対象とした職域募金
- 「児童・生徒」を対象とし、福祉教育を目的とした学校募金
- 「各種イベント」による興業募金など

このほかに「募金箱」を町内の病院、商店等に設置させて頂き、町民の皆さまからのご協力をお願いしております。

大口募金につきましては、募金ボランティアが会社・法人・団体・個人でご協力いただける方のご協力に伺いますので、その節はよろしくお願い致します。

小口募金につきましては、それぞれの自治会役員・駐在員の方々を通じて、ご協力をお願い致します。

赤い羽根は小さなことをしています。



小さなことかもしれないが、集っている人にとっては大事なこと。その小さなこと、日本全国で34の場所で開催している。それが、「赤い羽根」をしていこうと決めた人々の思い。赤い羽根はこれからも、アートを活動のテーマとして取り組む。小さなことでも心を動かして活動していきます。

あの人と、すべての人と、支えたい。  
赤い羽根共同募金



～集められた募金は弟子屈町と全道・広域の福祉のために役立てられます～

お知らせ

## 寄附金付きピンバッチ

弟子屈町  
限定

寄附金付きピンバッチ募金は、北海道内90ヶ所以上の市町村共同募金委員会で取り組まれている活動のひとつで、各地域のご当地キャラクターや観光名所などと赤い羽根共同募金がコラボすることで、地域の共同募金運動を盛り上げていきたいとの思いから始まりました。

本年度より弟子屈町共同募金委員会としても実施することとなり、記念すべき第1回目の寄附金付きピンバッチのデザインは、「弟子屈町シンボルマーク」に決定させていただきました。

長年にわたり、赤い羽根共同募金運動に温かいご協力をいただいていた町民の皆さまへの感謝の気持ちとして、本運動の取り組みをもっと身近なものとして知っていただくひとつのきっかけとして作成しました。



数量限定になっております

募金額 1個 500円



ご協力いただいた募金は、製作費を除く300円が弟子屈町の福祉活動を応援する「赤い羽根共同募金」へ寄託されます。

ぜひ、寄附金付きピンバッチ募金にご協力をお願いします。

500円以上の募金をされた方には、500円毎に1個ピンバッチをプレゼント致します

詳しくは、弟子屈町共同募金委員会まで。☎015-482-1054

# 歳末助け合い見舞金贈呈事業の 申請方式について

これまで歳末助け合い運動で寄せられた募金を、役場等関係機関の協力を得て、弟子屈町内で見舞金を必要とされる方へ贈呈してきました。

しかし、近年問題視されてきている「個人情報保護法」の観点から、従来通りの方法で見舞金を贈呈することができなくなり、本年度から「申請方式」を取らせていただくことになりました。

## 配分対象 世帯

### 次の(1)(2)(3)を満たしている世帯

- (1) 申請時に弟子屈町に住民登録があり、且つ引き続き居住していること。
- (2) 住民税が非課税であり、生活困窮状態であること。
- (3) 次の世帯条件のいずれかに該当する世帯

### 対象条件

#### ◆一般低所得者世帯

民生委員が特に援助が必要であると判断する満65歳未満の世帯

#### ◆低所得高齢者世帯

生活困窮状態にある、満65歳以上の高齢者のみの世帯

※課税世帯と同居している方は対象外となります。

#### ◆母子・父子世帯

中学校3年生以下の児童を養育しているひとり親世帯。

#### ◆障がい者と同居する世帯

1. 身体障がい者手帳1・2級
2. 療育手帳A判定
3. 精神保健福祉手帳1・2級のいずれかを有する方と同居している世帯

#### ◆在宅長期療養者

要介護3以上の認定を受けている方を介護する世帯

※重複する場合は、いずれか1つの配分となります。  
※生活保護世帯、施設入所・長期入院(6ヶ月以上)などにより在宅でない場合は対象外となります。

必要に応じて、以下の書類の提出を求める場合があります。①非課税証明書(18歳以上の世帯員全員) ②世帯全員記載の住民謄本 ③介護保険被保険者証の写し ④手帳の写し

## 申請 方法



歳末見舞金の申請をご希望される方は、弟子屈町社会福祉協議会または担当地域の民生委員より申請書類を受け取り、必要事項に記入して弟子屈町社会福祉協議会に申請してください。

### 贈呈額

町民の皆さまからお寄せいただいた歳末助け合い募金を財源に、弟子屈町共同募金委員会の配分会議で審査し、予算の範囲内で贈呈額を決定致します。

### 申請者

申請者は世帯主になります。代理人でも申請の手続きを行うことができます。

### 見舞金の受け取りに必要なもの

見舞金贈呈決定者には、見舞金を受け取った証明として必ず「見舞金受領書」に署名と捺印をしていただきます。

### 申込受付 期間

平成29年10月2日(月)～  
11月20日(月)まで

期日を過ぎた場合、申請手続きは行えませんので、期間内に申請していただきますようお願い致します。例外はありません。

社協受付時間：平日の午前8時45分から午後5時30分まで

### 提出および 問合せ先

弟子屈町社会福祉協議会 社会老人福祉センター内まで  
弟子屈町中央2丁目10番25号

# ボランティア センターだより

## 第21回 みちくさ ふれあいサロン

第21回待合室「みちくさ」ふれあいサロンが7月25日(火)に倅和園の入所者をお迎えし行われました。

伊藤節子さん指導によるイスに座ったままできる「ゆるーい体操」でほんのりと汗をかき、吉口教子さん演奏による「北海道にちなんだ懐かしい名曲や動揺」を大声で大合唱し、楽しい時間を過ごしました。

金澤三恵子さんによる楽しい「紙芝居」、絵本「これなーんだ」の読み聞かせをしてくれ、野菜や果物の輪切り絵図でなかなかわからなかったとの声がありました。

昼食にはスタッフが手作りしたお昼ご飯をいただき、あっという間に時間は過ぎ、たくさんの笑顔を残して帰られました。



金澤三恵子さんによる絵本の読み聞かせ  
みんな夢中になってお話を聞いていました。

## 七夕の夕べ



当日の様子

「懐かしい歌を聞いているうちに、心が安らいだ」と語る参加者もいました。



8月4日(金)、18時より待合室「みちくさ」において、ゲストに「HAL」の皆さんをお迎えし、今年も「七夕音楽の夕べ」を開催しました。

素晴らしい歌声と演奏と楽しいトークを聞きながら、「霧の摩周湖」や「星影のワルツ」などみんなで懐かしい曲を大合唱し、楽しいひと時を過ごしました。

今年は参加者のリクエストに応えるコーナーもあり、森山直太郎さんの「さくら(独唱)」や森山良子さんの「この広い野原いっぱい」をみんなで歌いました。

休憩時間には、スタッフの皆さんが作ってくれた冷たいお汁粉や焼きそばに舌鼓をうちながら会話に花を咲かせていました。

会は大盛況で全プログラムを終了しましたが、名残惜しい雰囲気会場を包みこみ、自然にアンコールの声が出ました。アンコールは、名曲「涙そうそう」を歌って終了しました。

また、来年も素晴らしい歌を聴くのが楽しみです。

## ボランティア研修



去る8月25日(金)に、平成29年度釧路市釧路地区ボランティア研修会が阿寒町で行われました。

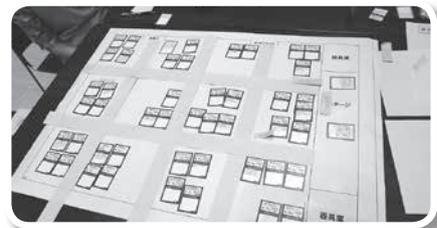
今回は「災害ボランティア」をテーマとする研修会で、午前中は昨年11月にオープンした(株)セイコーフレッシュフーズ釧路配送センターの視察を行いました。二階立ての建物でセンター内の電気は全て重油を使った自家発電で賄われていました。案内された空スペースは、災害時には避難所として使用できるそうです。

オートメーション化された施設内は、中央制御室からパソコン操作で指示を出し、管理・出荷されるシステムになっていました。

施設内の広大な敷地内は、災害時にヘリポートにもなるため、まさに災害時の重要な拠点の役割を担うことでしょう。

昼食には、災害時配送想定で作られたおにぎり2個と、レスキューキッチンを使用して阿寒町のボランティアスタッフが手作りした豚汁をいただきました。

午後の研修会は、「避難所運営ゲーム(HUG)北海道版」を疑似体験しました。



避難所運営ゲームの様子

「避難所は、行政がやるのではなく、避難者自身が運営者である」との自覚をもって取り組むことが大切

# 収集ボランティア活動報告

弟子屈町社会福祉協議会預かり分／平成29年6月14日～平成29年9月8日まで  
 ボランティアセンター預かり分／平成29年6月14日～平成29年9月8日まで

## ◆エコキャップ◆

杉本 隆雄 様  
 子ども発達支援センター 様  
 西郷 寿子 様  
 石坂 敏彦 様  
 今井林業友の会 様  
 すまいるB 様  
 特別養護老人ホーム摩周 様  
 摩周厚生病院 様  
 佐藤建設工業(株) 様  
 浄土美津子 様  
 摩周丘幼稚園 様  
 釧路開発建設部道路事務所 様  
 セイコーマート山名店 様  
 佐々木栄子 様  
 坪井 長治 様  
 美容室 ボンネ 様  
 明鶴寮 様  
 青木トシ子 様  
 ぬくもり弁当 様  
 大淵真由美 様  
 岩崎 順子 様  
 伊藤千恵子 様  
 野村ミツ子 様

瀬川 澄子 様  
 川湯保育園 様  
 おひさま保育園 様  
 住田 瑛子 様  
 稲辺 徳子 様  
 公民館 様  
 小家山 ななみ 様  
 きずなの仲間達 様(2回)  
 形部 章 様  
 1町内女性部 様  
 長谷製菓 様  
 お宿欣喜湯 様  
 若松 一恵 様(2回)  
 ダルマヤ時計店 様  
 フレンドリーショップきたさん 様  
 セイコーマート川湯店 様  
 大友とも子 様  
 習字勉強会 様  
 北崎 翔陽 様  
 北崎 陽考 様  
 山本 一子 様  
 和田玲衣菜 様  
 猿田 咲花 様  
 JA摩周湖女性部 様

島貫 真歩 様

## ◆リングプル◆

杉本 隆雄 様  
 子ども発達支援センター 様  
 釦カラオケ 様  
 石坂 敏彦 様  
 今井林業友の会 様  
 すまいるB 様  
 特別養護老人ホーム摩周 様  
 佐藤建設工業(株) 様  
 西館 松枝 様  
 摩周丘幼稚園 様  
 藤田 利弘 様  
 佐々木栄子 様  
 坪井 長治 様  
 明鶴寮 様  
 大淵真由美 様  
 野村ミツ子 様  
 川湯保育園 様  
 おひさま保育園 様  
 ホテル摩周 様  
 リサイクルショップきずな 様  
 形部 章 様

1町内女性部 様  
 長谷製菓 様  
 若松 一恵 様  
 片岡サチ子 様  
 大友とも子 様  
 スナック 松 様  
 舘岡フミ子 様  
 JA摩周湖女性部 様  
 島貫 真歩 様

## ◆古切手◆

杉本 隆雄 様  
 摩周丘幼稚園 様  
 スナック 松 様  
 川湯保育園 様  
 1町内女性部 様  
 ダルマヤ時計店 様  
 フレンドリーショップきたさん 様  
 べんり屋すずき 様  
 島貫 真歩 様



## ボランティアセンターからのお願い

いつも収集ボランティアにご協力くださりまして、心より感謝申し上げます。  
 ボランティアセンターより、皆様へお願いがございます。現在、リングプルやエコキャップを収集させていただいておりますが、エコキャップではないものと一緒に入っていることがあります。

## エコキャップは、ペットボトルキャップのみです。

しょう油、みりん類、カセットボンベ、スプレー缶、ドレッシング、マヨネーズ、各種チューブ、カップ酒、ウイスキーボトルのふたなどはエコキャップではありません。

これらのキャップは全て町の資源ごみ(緑色の袋)に入れて各自ごみの日に出してください。

右記のふたは、  
集めて  
おりません



カップ酒



しょう油



マヨネーズ



わさび・からしのチューブ



酒類



ドレッシング

## 新役員が

# 選任されましたので

# ご報告します。

### 【理事・監事（敬称略）】

会長 理事 星川 均  
 副会長理事 大友 泰雄  
 ○副会長理事 勝呂 清  
 監 事 近江屋 茂  
 ○監 事 小林 寿男  
 理 事 田中 豊  
 理 事 森内 重信  
 理 事 高砂 弥生  
 理 事 千葉 節子  
 理 事 貝塚 美雪  
 理 事 館 昭子  
 理 事 鎌田ケイ子

（○印は新役員）

### 【評議員（敬称略）】

評議員 小崎 和男  
 評議員 高田 裕子  
 評議員 浄土美津子  
 評議員 田中富士男  
 評議員 津坂 重輝  
 評議員 藤原 将男  
 評議員 平田くに子  
 評議員 小浜 秀子  
 評議員 吉田 陽子  
 評議員 岡島 寛  
 評議員 鈴木 好美  
 評議員 金刺 登  
 評議員 松谷 幹子  
 評議員 横田 幸子  
 ○評議員 河原 敏江  
 ○評議員 河原 敏江

（○印は新評議員）



## 第一回レスパイト事業

八月九日（水）に、児童の夏休み期間を利用して「第一回レスパイト事業」を実施しました。

この事業の目的は、「障がい児・者が社会参加を体験し並びに、一時的に預かりを行うことで家族のみなさんがリフレッシュする時間を創出する」ことを趣旨として毎年二回程度開催しております。今回の内容では、J A 摩周湖の河川敷焼肉コーナーで、高校生ボランティアと一緒にバーベキュー体験を行いました。何をどれだけ買ってくるのか、参加児童とペアで分担を決め、野菜担当や調味料担当など各担当ごとに買物をし、自分たちでバーベキューの準備をしました。

バーベキューを実施して、普段は食が細くてあまりご飯が食べられない子ども、普段よりたくさん食べていました。食後は、北海道弟子屈高等学校から参加したボランティアスタッフの生徒さんたちが中心となって考えた「しっぽとりゲーム」などを福祉センターで行いました。

短い時間ではありましたが、参加児童にとって思い出に残る夏休みの一日になったと思います。

短い時間ではありましたが、参加児童にとって思い出に残る夏休みの一日になったと思います。



高校生のスタッフと一緒にバーベキューの準備をする児童達

## 中・高校生ワークキャンプ

八月十日（木）、十四日（月）の二日間、「中・高校生ワークキャンプ」が実施されました。

この事業は、弟子屈町内の社会福祉施設での体験学習、体験講座を通して、中学・高校生のボランティア活動への理解と地域における福祉教育とボランティア活動の振興をはかることを目的とした活動です。

十九回目の開催を迎えた今年は、町内の高校生六名が参加しました。一日目は「社会福祉法人てつなぎ」を訪問しました。「しいたけの栽培」と「タックキーづくり」「便利屋」の作業を体験した高校生達は、「はたらくこと」の大変さや喜びを利用者と交流しながら学んでいました。

二日目は、「弟子屈町老人デイサービスセンター」で高齢者の方々とおしゃべりをしたり、体操やレクリエーションの棒倒しゲームなどを交流しました。今回の体験を通して参加者達は「障がいがあってもなくても、誰もが安心して暮らせる弟子屈町にしていきたいために、もっと障がいや福祉について勉強していきたい」と感じました。参加者達にとって貴重な体験になったと思います。

今回の体験を通して参加者達は「障がいがあってもなくても、誰もが安心して暮らせる弟子屈町にしていきたいために、もっと障がいや福祉について勉強していきたい」と感じました。参加者達にとって貴重な体験になったと思います。



2日間の学んだことを発表する参加者たち



# あたたかい善意をありがとうございます



去る7月7日(金)、弟子屈町ボランティア連絡協議会より、車イス2台が弟子屈町社会福祉協議会へ寄贈されました。

この車椅子は、町民の方々から寄せられたリングプル（750kg×2）をリングプル再生ネットワークを通じて車イスに交換したものです。

この車イスは、町内で車イスの利用が必要な方へ貸し出されます。

弟子屈町の福祉推進にご協力をお願いいたします、ありがとうございます。



寄贈された車イス

平成29年6月14日から平成29年9月12日までにお寄せいただいた「寄附金」・「寄贈品」を紹介します。

## 寄 附 金

◆瀬川 文子 様	50,000円	(生前、亡夫がお世話になったお礼として)
◆阿部 香子 様	20,000円	(入院・手術見舞いのお返しの一部として)
◆文化協会 様	21,399円	(春のまつり益金を社会福祉のために使ってください)

## 寄 贈 品

◆泉女性部 様	清拭布 1,000枚	(社会福祉のために、使ってください)
◆高台自治会女性部 様	雑巾・清拭布多数	(社会福祉のために、使ってください)
◆山崎 多計司 様	電波時計	(日頃からお世話になっているお礼として)
◆弟子屈町ボランティア連絡協議会 様	車イス2台	(社会福祉のために、使ってください)



### ～おしらせ～ 職員紹介

7月1日付で介護支援専門員として働かせていただいております、杉山直美と申します。

利用者さんが一番良い形で生活できるように何度も話し合い、一緒に決めていけるような介護支援専門員を目指していきたいと思っています。よろしくお願い致します。



### 社会福祉法人 弟子屈町社会福祉協議会

〒088-3211  
弟子屈町中央2丁目10番25号  
弟子屈町社会老人福祉センター内  
TEL 015-482-1054  
FAX 015-482-1236

ご意見ご感想をお寄せ下さい



社協の運営は、皆様の暖かい善意に支えられています。社会福祉協議会は、行政や地域住民の皆様が安心して暮らすことができる福祉の町づくりに取り組んでいます。慶弔のお返しに、えてまた結婚、出産等を記念して、地域の福祉の推進のために、皆様のご厚情をお待ちしております。